

【安田町】

1人1台端末の利活用に関する計画

文部科学省では、「GIGA スクール構想加速化基金管理運営要領」により、補助金を活用する際には、計画を作成し公表することを定めており、安田町は以下のとおり公表します。

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

児童生徒は、1人1台端末を通じて、個々の理解度や学習スペースに合わせた、より1人1人の児童生徒の実態に応じた学習計画に基づいて学びを進めるものとする。

今回の端末更新を行う対象2校においては、それぞれの学校や児童生徒の実態等に応じ、GIGA スクール構想により整備された ICT 環境のもと、研修や授業を行い、1人1台端末の効果的な利活用に向けての実践を図ってきた。今後、GIGA スクール構想第2期に向けて、以下のような児童生徒の学びの姿を目指していく。

- ① 児童生徒は、1人1台端末を通じて個々の理解度や学習スペースに合わせた、より1人1人の児童生徒の実態に応じて学びを進めるものとする。
- ② 児童生徒が、他の児童生徒や地域の方々等とオンライン会議でつながり、課題解決に取り組む機会を増やすことで、多くの他者の考えに触れ、自己の考えを広め深めることを目指す。
- ③ グループワーク等を通じて、非認知能力等を高める。

2. GIGA 第1期の総括

本町の小中学校では、国の GIGA スクール構想を受け、学習系ネットワーク・無線 LAN 環境及び児童生徒1人1台端末の整備が進み、令和3年3月までに完了した。

今後は、整備した ICT 環境を活用し、主体的・対話的で深い学びを通して教育の質を向上させ、児童生徒の資質・能力を確実に伸ばしていくことが求められる。

本町の教員が授業中に ICT を活用して指導する能力はあるものの、学校間や教員間で意識やスキルに差がみられることから、教委の ICT 活用指導の更なる向上が必要である。また、校務の更なるデジタル化により業務の効率化や教育データの利活用を進めることや、現在、校務系と学習系でネットワークが分離されていることにより損なわれている利便性を改善することといった環境面の整備で、現場の負担軽減を図り、教員の力を最大限に引き出すことが必要である。

3. 1人1台端末の利活用方策

本町では、令和8年度に対象校2校の端末更新を計画しており、更新にあたり各学校及び関係各課が情報共有を図りながら、更新作業を進めていく予定である。これらのICT環境の充実を前提として、1人1台端末の効果的な利活用促進に向けて、次の3つの視点から目標達成に向けての取組を行う。

(1) 1人1台端末を積極的に活用するために

対象校では、これまでもICTを活用した授業研究や、研修会等を行ってきた。今後もより多くの教職員に対して、効果的な端末の利活用についてのスキルを身につけさせ、授業での利活用を積極的に行っていただくことを目指す。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実を図るために

児童生徒が、「自分で調べる場面」「自分で考えをまとめ発表する場面」「児童生徒同士や教員とやりとりする場面」において、積極的に1人1台端末を活用することができるように、授業等において、具体的な活用事例の情報共有を図っていく。

(3) 全ての児童生徒の学びを保証するために

不登校の児童生徒や支援が必要な児童生徒に対して、1人1台端末を活用することで、学びの幅を広げ様々な状況の児童生徒の学習機会を確保する。また、障がいのある児童生徒については、児童生徒の特性に応じて、デジタル教材等を整備することで、学習の効果を高める。